

取扱説明書

Racer Gauge N2

レーサーゲージエヌツーΦ80タコメーター専用

DF17201, DF17203, DF17301, DF17303

この度は、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は車両情報を表示するアナログメーターです。お客様・取り付け業者様ともに、ご使用前に必ず取扱説明書と保証書をよくお読みの上、十分に内容を理解してから正しくお使いください。特に安全・取り扱に関するご注意は必ずお読みください。取り付け後も、スタートガイドと保証書をいつでも取り出せるように大切に保管し、正しい取り扱い方法でご愛用いただけますようお願い申し上げます。本製品(及び本製品が取り付けられている車)をお取手に貸し出しし譲渡する場合は、スタートガイド及び保証書も必ずお渡しください。

なお、本品の装着に関する事故や弊害につきましては、いかなる場合においても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品お取り付けの際には、取り付けの車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項も合わせてよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けいただけますようお願い申し上げます。また、ご使用になる前に本体及び付属品が全て入っているかご確認ください。

エンジンコンピューター配線図は当社Webサイトに掲載しておりますのでご参照ください。

安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の3つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず行っていたべき事項と、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

危険	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその回復期が高いことが想定される場合。
警告	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
確認	「必ず行っていたきたい事」、「必ず守っていたきたい事」を示しています。

注意内容の性質表示

	禁止	は、行為を禁止する記号です。(絶対にしてはいいない事です。)
	強制	は、行為を指示する記号です。(必ず行っていたください。)

取り付け作業をする前に(取り付け業者様へ)

危険

- 製品は水のかかる場所、湿気の高い場所には取り付けしないでください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- 作業を行う時は必ず車が動き出さないよう措置をし、エンジンを停止してから行ってください。作業中に車が動き出したり、火災の原因となり大変危険です。
- 配線作業中は必ずキーシリンダーから鍵を抜き、バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- シートベルトやエアバックなどの安全装置や、エンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性能と直接関係する部位のハーネスの加工時および配線の接続時(ネジの脱着など)は誤配線に十分注意してください。車両不具合による事故や火災の原因となり大変危険です。
- 配線の接続はハンダ付けを行うか、エレクトロタップがギボシを使用し、接続部の絶縁を必ず行ってください。また、配線に衝撃やテンションがかかることは、緩衝材やコルゲートチューブなどで保護してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- 電源配線時、電源ハーネスに断線がないか、または断線しつかっていないか確認してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- ヒューズが切れた場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用するとショート事故による火災の原因となり大変危険です。また、車両の故障や事故の原因となります。
- 電源ハーネスのヒューズを交換する場合は、必ず規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用した場合、火災の原因となり大変危険です。また、メーターの精度に影響を及ぼします。
- 製品が故障したり誤動作した場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用すると車両の故障や事故の原因となります。

警告

- 本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく、故障や事故の原因となります。
- エンジン停止直後は絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後はエンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があります。
- 配線作業中にハーネスを切断する場合、複数のハーネスをまとめて切断しないでください。必ず単線毎に切断してください。ハーネスをまとめて切断すると車両のコントローラーなどを破壊する恐れがあります。
- 作業中は幼児・子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込む等の恐れがあります。
- 車員保護装置(エアバック等)の動作に影響を及ぼす場所に取り付けしないでください。保護装置作動時にケガの恐れがあります。
- 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。特に安全装置や運転の妨げになる位置に製品を取り付けしないでください。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなります。
- 必ず既存の配線に影響が出ないような配線を行ってください。車両のコントローラーなどを破壊する恐れがあります。

注意

- 本製品に過大な力をかけたたり、ぶついたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品の端子などに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。
- 本製品付属のハーネス以外で配線しないでください。
- ハーネスは、エンジン、排気管、過給機付近には配線しないでください。ハーネスの破損、溶断の原因になります。
- 1個のヒューズを複数のメーターで使用しないでください。それぞれのメーターのIGNと+Bのラインに1個ずつヒューズが必要です。
- コード、特にコネクター部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクターを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。
- インストールメントパネルの助手席側及びセンターにメーターを埋め込まないでください。車両の保安基準に適合しません。
- 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないでください。故障の原因となります。
- ハーネスは点火信号や無線、HIDユニットのハーネスなどのノイズの発生しそうな場所を避けて配線してください。点火系などのノイズはメーター誤動作の原因となります。
- 12V仕様車専用です。12V車以外には取り付けしないでください。
- 使用しない配線は絶縁テープなどで完全に絶縁してください。また、取り付け時に外したり、ゆるめた部品やコネクター、新たに配線したものは必ず正しく組みつけ、固定してください。
- エンジンルーム内で配線を分岐する際は、防水処理を確実に行ってください。
- ハンダ付けで火傷をしたり、配線・部品の端面・尖った部分等に直接手を触れることがないように手袋を着用してください。
- サンシールドを使用する場合は、フロントガラスと製品の間に置くようにして製品が日陰になるようにしてください。
- 清掃するときは、電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れを落とす場合は、中性洗剤に浸してよく絞った布で拭いてください。有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)、酸・アルカリ類は使用しないでください。

確認

- メーターは前面に傾けないでください。オイルが漏れる可能性があります。Aの角度は90度以上でなくてはなりません。90°以上
- 取り付けは必ず本書に従ってください。
- 取り付け作業が終了したら、スタートガイド、保証書、残りの部品、パッケージは必ずお客様にお渡ください。
- 純正部品の取り付け、取り外しの際は、カーメーカー発行の整備書を確認してください。
- 電源配線前に、分岐する車両配線の電圧を確認してください。配線後、電源ハーネスのコネクター側で再度電圧を確認してから製品に接続してください。
- ナビゲーションシステムやカーテレビを取り付けている場合は、それら本体やアンテナ、モニター、ハーネス類からできるだけ離れて本製品の配線、取り付けを行ってください。近付たり、ハーネスを一纏めに束ねたりするとテレビ表示に影響を与える場合があります。
- バッテリーのマイナス(ターミナルを外すと、メモリー機能を持ったオーディオや時計などの記憶内容が消去される場合があります。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定してください。
- 指針が真下から動いている場合がありますが、異常ではありません。通電すれば、正常動作します。
- 取り付け作業の際に純正品品等が破損、紛失しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

取り扱いに関して(お客様・取り付け業者様へ)

警告

- 本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。
- 走行中は安全のため本品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。
- 「表示がでない」などの故障状態や、「水などがこぼれた」「煙が出た」「変な匂いがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生しましたら、すみやかに販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。
- 本製品はお買い上げいただいた販売店またはディーラーで取り付けしてください。お客様による取り付けは、故障や事故につながる恐れがあります。また、個人でお取り付けされた場合、保証の対象外となります。
- 操作は車を停止して行ってください。
- 幼児・子供等がスイッチやその他の部品を飲み込まないようにインパネ等しっかりと固定してください。

注意

- コード、特にコネクター部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクターを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。また、コネクターによってロックの位置が異なりますので、ご注意ください。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

確認

- Defi-LinkシステムやADVANCEシステムとリンクさせることはできません。
- 製品の表示は参考値です。純正メーターの指示と連続していません。
- 取り付け後も定期的に点検を実施し、十分注意してご使用ください。使用環境や条件等によって耐久性が落ちる場合があります。
- 廃棄するときは、各自自治体の指示に従ってください。
- 本製品は照明に高輝度LEDを使用しています。LED生産上の公差による多少の色味の違いが発生する場合がありますが、製品の異常ではありません。
- アイドリングストップ車の場合、アイドリングストップ時のバッテリー電圧の低下によりエンジン始動復帰時に製品の電源がオフ/オンする場合がありますが、製品の異常ではありません。
- 対応気筒数は1・2・3・4・5・6・8気筒の4サイクルです。詳細は仕様を参照してください。ディーゼル車ではエンジン回転数表示できません。

ラインナップ(お客様へ)

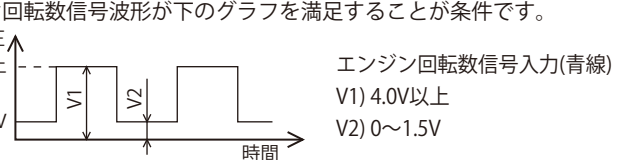
機種名	Φ52		Φ60		Φ80	
	ブルー	レッド	ブルー	レッド	ブルー	レッド
ターボ計2.0(TURBO)	-100kPa~+200kPa	DF16001	DF16003	DF16601	DF16603	—
ターボ計3.0(TURBO)	-100kPa~+300kPa	DF16101	DF16103	DF16701	DF16703	—
圧力計(PRESS.)	0~1000kPa	DF16201	DF16203	DF16801	DF16803	—
温度計(TEMP.)	30~150°C	DF16301	DF16303	DF16901	DF16903	—
排気温度計(E.G.T.)	200~1100°C	DF16401	DF16403	DF17001	DF17003	—
電圧計(VOLT)	10~15V	DF16501	DF16503	DF17101	DF17103	—
タコメーター9000rpm	0~9000rpm	—	—	—	DF17201	DF17203
タコメーター11000rpm	0~11000rpm	—	—	—	DF17301	DF17303

主な特長(お客様へ)

- ステッピングモーター “STEP MASTER STS26A” 採用によるなめらかな動き
- 最大振れ角270度で高い視認性確保
- IGN ONで目覚める自発光式メーター
- 高輝度LEDを採用した美しい照明
- 稲妻のように光るオープニング/エンディングセレモニー採用
- 専用取付台とメーターホルダー付属
- 昼夜独立5段階調光機能搭載
- 音と光で警告するダブルワーニング
- 専用の大型インジケーター付属
- ピークメモリー機能搭載
- 脱着可能専用スイッチ付属

製品仕様(お客様・取り付け業者様へ)

電源電圧	DC10V~15V(12V車専用)
消費電流	+B(赤)線 MAX 0.4A (暗電流0mA) IGN(橙)線 MAX 0.4A ILM(白)線 MAX 2mA
照明色	文字板、スイッチともに白
動作温度範囲	-20 ~ +60°C (湿度80%以下)
保存温度範囲	-30 ~ +80°C (湿度80%以下)
対応気筒数	1・2・3・4・5・6・8
対応エンジン回転数/r/min	エンジン回転数信号波形が下のグラフを満足することが条件です。



電圧 4.0V以上
0~1.5V
時間
エンジン回転数信号入力(青線) V1) 4.0V以上
V2) 0~1.5V

部品表(お客様・取り付け業者様へ)

本製品は、下記の部品で構成されています。取り付け前に部品をご確認ください。また、故障した場合は補修パーツを販売しておりますので、Defi製品取扱店にご相談ください。

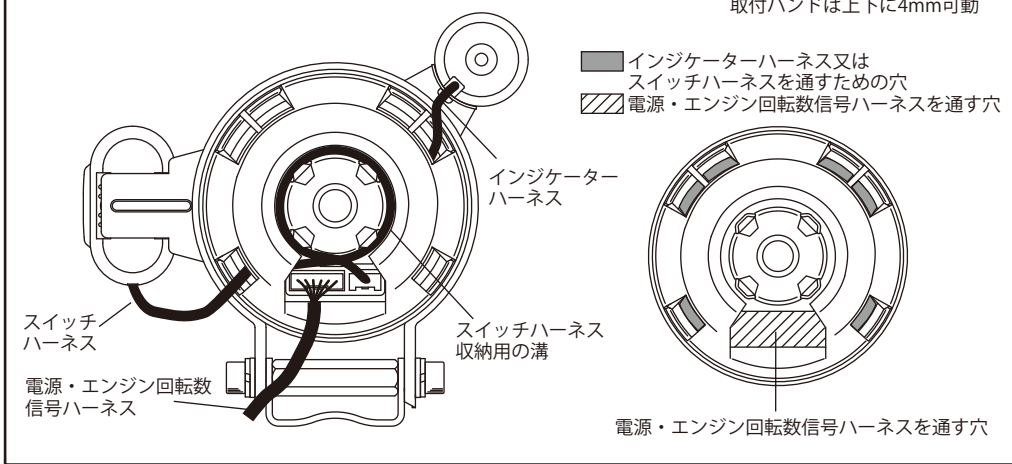
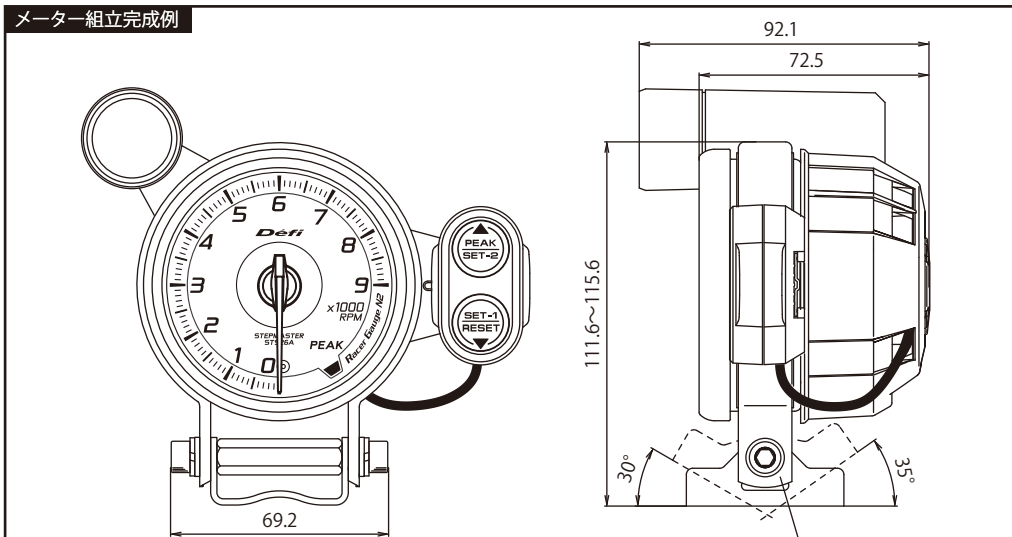
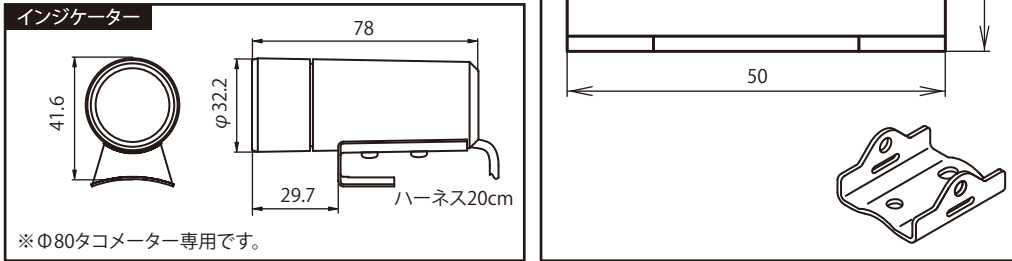
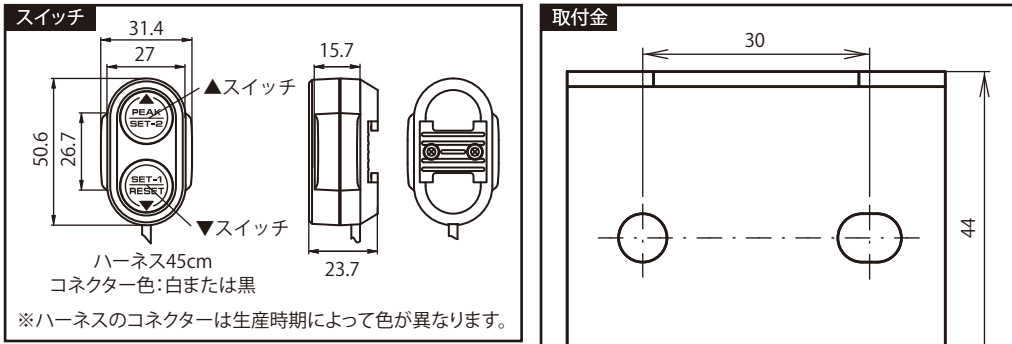
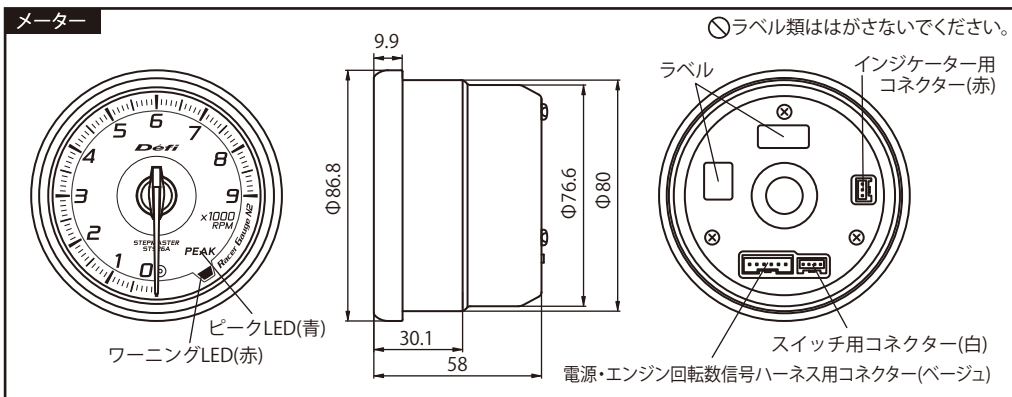
品名	個数	品名	個数
①メーター本体	1	⑩M6ボルト	2
②スイッチ(ハーネス45cm)	1	⑪スプリングワッシャー	2
③バックケース	1	⑫ワッシャー	2
④取付バンド	1	⑬スベアー	1
⑤取付ゴム	1	⑭モルトブレン	1
⑥電源・エンジン回転数信号ハーネス(2.2m)	1	⑮両面テープ	1
⑦インジケーター(ハーネス20cm)	1	⑯タッピングネジ	2
⑧取付金	1	⑰エレクトロタップ	5
⑨スイッチ固定ステー	1		

- ① 上記以外にスタートガイド、保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

補修パーツ(お客様へ)

品名	品番
Φ80バックケースセット(バックケース×1、モルトブレン×1)	PDF07101G
電源・エンジン回転数信号ハーネス	PDF12010H
Φ80取付バンドセット(取付バンド×1、取付ゴム×1)	PDF07103G
Φ80取付金セット(取付金×1、M6ボルト×2、スプリングワッシャー×2、ワッシャー×2、スベアー×1、タッピングネジ×2)	PDF07104G
電源ハーネス用管ヒューズ(1A) 2ヶ入り	PDF07113G

寸法(mm)・各部名称(お客様・取り付け業者様へ)



取り付け方法(取り付け業者様へ)

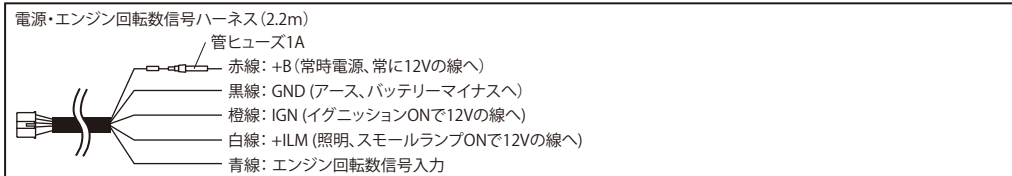
- ① 取り付け・取り扱いについては、「安全・取り扱いに関するご注意」をよくお読みいただき、安全に正しくお取り付けください。誤った取り付け箇所、取り付け方法は、脱落や車両破損の原因となり大変危険です。

注意

- コード、特にコネクター部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクターを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。
- 部品をぶついたり、こすり合わせしないでください。傷が付いたり傷を付ける恐れがあります。
- 電源・信号の配線についてはWebサイトの適用機種検索をご参照ください。適用機種検索に記載されていない車両の場合、または純正タコメーターを外した場合、市販のフルコン・点火システムをご使用の場合はDefiお客様相談室までお問い合わせください。

ステップ1 電源・エンジン回転数信号ハーネスの配線

- 車両のバッテリーマイナス(-)ターミナルを外してください。
- Webサイトの適用機種検索を参照し、下図のように電源・エンジン回転数信号ハーネスの各線を配線します。



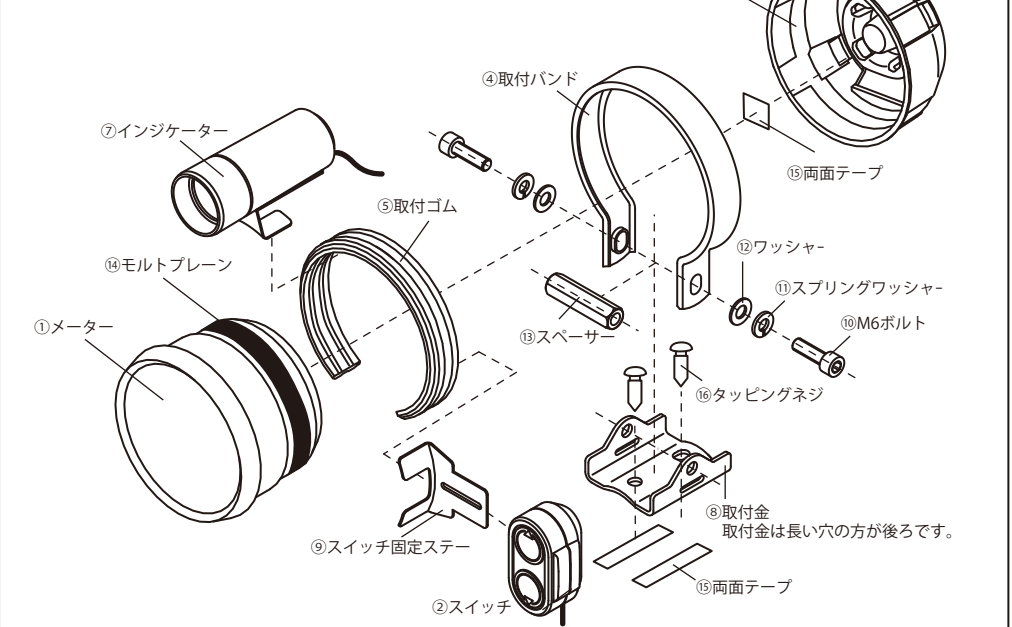
- 車両のバッテリーマイナス(-)ターミナルを接続してください。

ステップ2 配線確認

- メーター本体の裏側に電源・エンジン回転数信号ハーネスのコネクターを接続します。
- イグニッションキーをONし、オープニングセレモニー動作をする(メーターの照明が点灯し、指針が動く)ことを確認してください。
- スモールランプをONし、メーターの照明が暗くなることを確認してください。
- イグニッションキーをOFFし、エンディングセレモニー動作をする(指針がゼロに戻り、メーターの照明が消える)ことを確認してください。
- 次のステップでメーター本体を車両に取り付けるため、一旦電源・エンジン回転数信号ハーネスをメーターから外します。

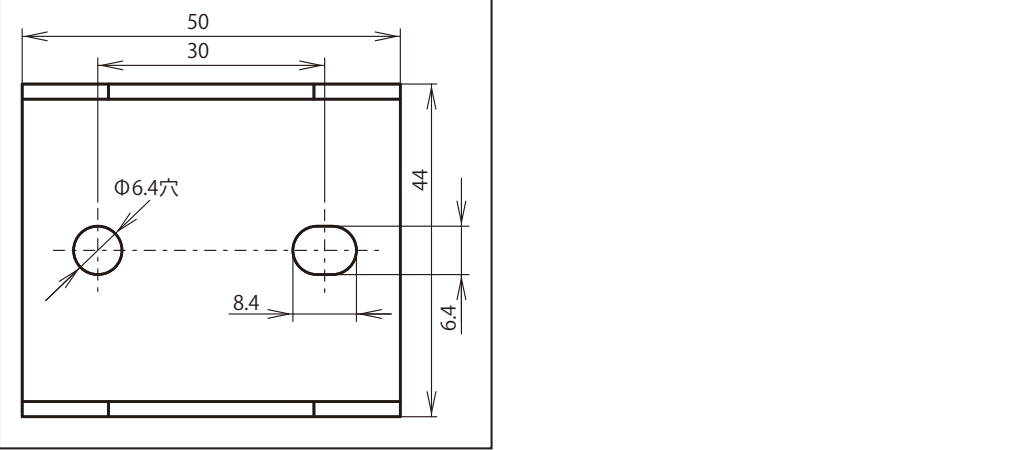
ステップ3 メーターの取り付け

【図1】メーター組立全体図
本図と下の手順に従ってメーター本体を取り付けます。



- メーターの周囲にモルトブレンを貼り付けます。【図1】
※メーターのガラス部分に触ると指紋が付きますのでご注意ください。
- 取付バンドの内側の溝に取付ゴムを沿わせませす。【図2】
- スベアー、ボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーを用いて、取付バンドに取付金を仮止めます。この時点では、六角レンチを使わずに手でボルトを軽く締めた状態にしておきます。【図3】
- スイッチ固定ステーにスイッチを差し込みます。【図1】
※メーター以外の場所にスイッチを取り付ける場合は、スイッチ固定ステーを使用しないでください。
- スイッチ固定ステーとインジケーターを取付バンドにはめ込み、メーターを取付バンドに通します。この時点でスイッチとインジケーターを大体どの位置に取り付けるか決定していただき、スイッチとインジケーターは取付金とボルトに接触しない範囲で取付角度を調整できます。【図4】【図5】
※手から離すとメーターが倒れることがありますのでご注意ください。
※メーターにスイッチを取り付けられない場合は、取付バンドにスイッチ固定ステーを装着しないでください。
- 取付バンドにメーターをはめ込んだ状態でメーターの取付位置を決め、取り付ける部分(インパネ等)に取付金の外形とネジ穴の位置をマーキングします。ネジ穴の位置をマーキングする際は、下の取付金寸法図をご参照ください。【図9】
※取り付け場所に十分なスペースがあるか確認するため、メーター、インジケーター、スイッチなどの必要な部品を組み立てた状態で取付位置を決めてください。
※メーターを傾けた際に、メーターが取付金にぶつくと傷がつく恐れがありますので、ご注意ください。
- 一旦、取付金から取付バンドを外し、取付バンドからメーター・スイッチ固定ステー・インジケーターを外します。
- 取付金裏面に両面テープを貼ります。【図1】【図6】
- 取付金を付属のタッピングネジで取付位置に固定します。
- 再度、取付バンドにスイッチ固定ステー・インジケーター・メーターをはめ込みます。それぞれ取り付けたい位置やメーターの向きを考慮してはめ込んでください。
※メーターにスイッチを取り付けられない場合は、取付バンドにスイッチ固定ステーを装着しないでください。
- バックケース内側の真中に両面テープを貼ります。【図1】【図6】
- インジケーターハーネスをバックケース背面の任意の穴に外側から通し、メーター裏のコネクターに接続します。同様にスイッチハーネスもバックケースの外側から任意の穴に通します。【図7】【各品名称・メーター組立完成例】
- バックケースをメーターに被せます。その際、スイッチハーネスと電源・エンジン回転数信号ハーネスのコネクターをケースの外側から差し込めるように、「電源・エンジン回転数信号ハーネスを通す穴」の位置をメーター裏面のコネクター位置に合わせてください。インジケーターハーネスはバックケースの中に収納するとすっきりと配線できます。【各品名称・メーター組立完成例】
- スイッチハーネスをメーター裏のコネクターに接続します。バックケース背面の溝の中に収納するとすっきりと配線できます。【各品名称・メーター組立完成例】
- 電源・エンジン回転数信号ハーネスをメーター裏のコネクターに接続します。【各品名称・メーター組立完成例】
- スベアー、ボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーを用いて、メーターをはめ込んだ取付バンドを取付金に取り付けます。
※取り付け位置によっては取り付け難い場合があります。無理にハーネスを引っ張ったり、部品を車両などにぶつけないようにご注意ください。
- 六角レンチでボルトを締めます。メーターの角度を決め、くらつかないようにしっかり締めてください。【図8】

【図9】取付金寸法図(実寸:mm)

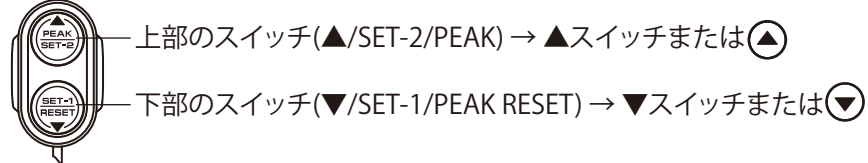


ステップ4 最終確認・設定

- メーターが確実に固定されていることを確認後、車両のエンジンをON/OFFし、メーターの動作、照明、エンジン回転数信号の入力を確認してください。
※エンジンをかけた際に、足回りに工具が落ちていないことや、車両の周りが安全であることを十分に確認してください。
- 次のご使用方法をお読みの上、気筒数などの設定をしてください。お客様が設定する場合はスタートガイドをお客様にお渡しください。

ご使用方法(お客様・取り付け業者様へ)

ここでは、2個のスイッチを以下のように表現します。



1.機能

気筒数設定	メーターを取り付ける車両に合わせて気筒数を設定する機能です。
ワーニング設定	任意でワーニング値を設定する機能です。SET1とSET2の2ポイント設定できます。
プザー設定	ワーニングSET2の設定値を超えた場合にプザーを鳴らす/鳴らさない設定をする機能です。
オープニング・エンディングモード	イグニッションのON/OFFに連動し、照明や指針を使ったオープニング/エンディングセレモニーの演出をします。
リアルモード	走行中・アイドリング中にリアルタイムでエンジン回転数を表示します。
ワーニングモード	ワーニング設定モードで設定した値に応じて、ワーニングLEDやプザーなどでワーニングをお知らせします。
ピークモード	走行中に記録したピーク値を表示する機能です。リアルモード中とピークモード中は常にピーク値を記録します。ピーク値をリセットすることもできます。
調光	メーター照明の明るさを調整する機能です。イルミONに連動して減光する他に、昼間5段階、夜間5段階＋減光キャンセル1段階で明るさの調整ができます。

2.スイッチ操作一覧

リアルモード中のスイッチ操作で移行するモードの一覧です。ピークモードと調光機能以外は5秒以上スイッチ操作をしないとリアルモードに戻ります。

リアルモード	▲	▼	▲	▼	▲	▼
同時に2秒以上長押しする	▲	▼	▲	▼	▲	▼
セットアップモード	ワーニング設定モード SET1	ワーニング設定モード SET2	ピークモード	調整機能		
モード変更後の操作	SET1/ON/OFF/プザー	ワーニング設定	気筒数設定	設定値が上がる 長押しして早く上がる	設定値が下がる 長押しして早く下がる	設定値が上がる 長押しして早く上がる
5秒後	リアルモードに戻る	リアルモードに戻る	リアルモードに戻る	戻る	戻る	戻る

3.設定方法

確認

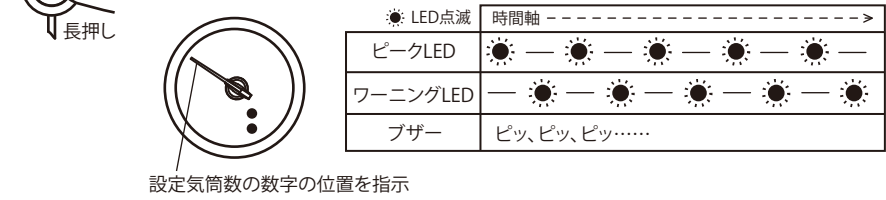
- ① 設定は必ず行ってください。設定を行わないと正常に作動しません。
- ② 設定は車を停止した状態で行ってください。

①セットアップモード

気筒数とプザーの設定を行います。気筒数の初期設定は4気筒です。4気筒の車両以外は以下の手順に従い、設定気筒数を変更してください。プザーの初期設定はONです。

※気筒数設定・プザー設定はバッテリーを外してもクリアされません。

リアルモード中に▲スイッチと▼スイッチを同時に2秒以上押しするとセットアップモードに移行します。セットアップモード中は、文字板上のピークLEDとワーニングLEDが交互に点滅しながら、設定されている気筒数の数字の位置を指針が指示します。また、プザーが“ピッ、ピッ”と鳴ります。セットアップモード中に気筒数設定・プザー設定を行ってください。5秒以上スイッチ操作をしないと、セットアップモードが自動終了します。



設定気筒数の数字の位置を指示

[A]気筒数設定

セットアップモード中は▼スイッチを押すたびに気筒数が4→3→2→1→8→6→5→4→・・・(以下繰り返し)と変わります。▼スイッチを押し、取り付ける車両の気筒数と文字板上の数値が一致するように指針を合わせます。

5秒以上スイッチ操作をしないと、セットアップモードが自動終了し、そのときに指示していた値が設定気筒数となります。

[B]プザー設定

ワーニングSET2の設定値を超えたときにプザーを鳴らすかどうかの設定をします。

セットアップモード中に▲スイッチを押すとプザー音のON/OFFが設定できます。セットアップモード中は、プザー設定がONの場合、ピークLEDとワーニングLEDの点滅に合わせて“ピッ、ピッ”と鳴り、OFFの場合は鳴りません。(セットアップ中のプザー音で、ワーニングSET2の設定値を超えたときのプザー音がONになっているかOFFになっているかを確認できます。)

プザー設定がONの場合、リアルモード中に指示値がワーニングのSET2を超えるとき“ピー”と鳴り、OFFの場合は鳴りません。

5秒以上スイッチ操作をしないと、セットアップモードが自動終了し、そのときの設定がプザー設定となります。

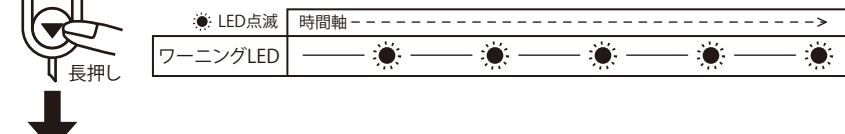
※スイッチ操作をするときにプザー音が鳴りますが、OFFにすることはできません。

②ワーニング設定モード

ワーニング値はSET1とSET2の2ポイント設定できます。SET1よりSET2の数値が高くなるように設定します。初期設定は、SET1が6000rpm、SET2が7000rpmです。必要に応じて設定変更してください。
※ワーニング設定値はバッテリーを外してもクリアされません。

[A]ワーニング設定モード - SET1

リアルモード中に▼スイッチを2秒以上押しするとワーニング設定モードSET1に移行します。ワーニング設定モードSET1のときは、ワーニングLEDが下図のように“ピカ、ピカ、ピカ”と点滅します。



ワーニング設定を上げる場合、▲スイッチを押します。一回押すたびに少しずつ上がり、長押しすると早く上がります。ワーニング設定を下げる場合、▼スイッチを押します。同様に一回押すたびに少しずつ下がり、長押しすると早く下がります。

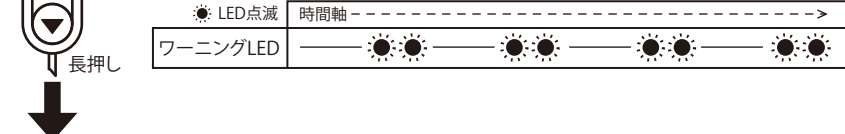
5秒以上スイッチ操作をしないと、ワーニング設定モードSET1が自動終了します。

※設定可能な回転数は500rpmから文字板の最大目盛りの範囲です。
※SET2の設定値より低い値を設定してください。

ワーニング設定値SET1をSET2より高く設定した場合
→SET2の設定回転数はSET1の設定回転数と同じ値に変更されます。
例) SET2が6000rpmの場合、SET1を7000rpmに設定するとSET2も7000rpmに変更されます。

[B]ワーニング設定モード - SET2

リアルモード中に▲スイッチを2秒以上押しするとワーニング設定モードSET2に移行します。ワーニング設定モードSET2のときは、ワーニングLEDが下図のように“ピカピカ、ピカピカ”と点滅します。



ワーニング設定を上げる場合、▲スイッチを押します。一回押すたびに少しずつ上がり、長押しすると早く上がります。ワーニング設定を下げる場合、▼スイッチを押します。同様に一回押すたびに少しずつ下がり、長押しすると早く下がります。

5秒以上スイッチ操作をしないと、ワーニング設定モードSET2が自動終了します。

※設定可能な回転数は500rpmから文字板の最大目盛りの範囲です。
※SET1の設定値より高い値を設定してください。

ワーニング設定値SET2をSET1より低く設定した場合
→SET1の設定回転数はSET2の設定回転数と同じ値に変更されます。
例) SET1が7000rpmの場合、SET2を6000rpmに設定するとSET1も6000rpmに変更されます。

4.各動作モード

①オープニング・エンディングモード

イグニッションをONすると、オープニングセレモニー動作後にメーターが動作します。イグニッションをOFFすると、エンディングセレモニー動作後にメーターが停止します。

※オープニングセレモニー動作中は、調光設定にかかわらず明るさは最大になります。

※他のRacer Gauge製品を車両に取り付けている、またはこれから取り付ける場合は、同じ位置から電源を配線することでオープニング・エンディングセレモニー動作が同じタイミングになります。別の位置から配線するとタイミングがずれる場合があります。

②リアルモード

指針がリアルタイムにエンジン回転数を指示します。同時にピーク回転数を記憶します。

③ワーニングモード

リアルモード中に、エンジン回転数がワーニング設定モードで設定したワーニング値を超えると、以下のようにワーニングLEDやインジケーターでワーニングを表示します。

[シーンA]ワーニング設定モードSET1で設定した回転数以下の場合

ワーニングLEDは消灯の状態です。プザーは鳴りません。インジケーターは消灯の状態です。

[シーンB]ワーニング設定モードSET1で設定した回転数以上になった場合

ワーニングLEDが点灯します。プザーは鳴りません。インジケーターは緑LEDが点灯します。

[シーンC]ワーニング設定モードSET2で設定した回転数以上になった場合

ワーニングLEDが点滅し、プザーが“ピー”と鳴ります。インジケーターは赤LEDが点灯します。

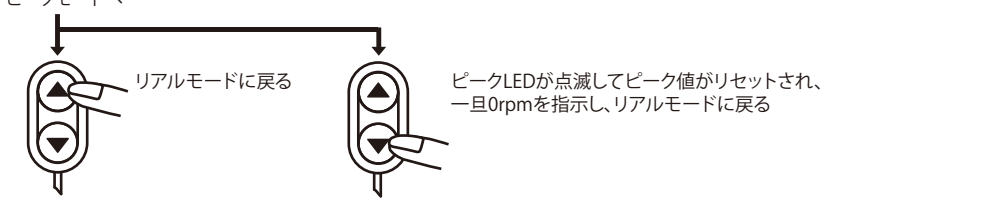
※セットアップモードのプザー設定でOFFを選択した場合はプザーは鳴りません。

	ワーニングSET1: 初期値6000rpm	ワーニングSET2: 初期値7000rpm	
	低 ←	高 →	
シーン	[シーンA]	[シーンB]	[シーンC]
ワーニングLED	消灯○	点灯●	点滅●
プザー	なし	なし	ピー
インジケーター	消灯○	緑点灯●	赤点灯●

④ピークモード

リアルモード中に▲スイッチを押すとピークLEDが点灯し、ピークモードに移行します。ピークモード中は最大回転数(ピーク値)を指示します。回転数がそれまでのピーク値を上回る度にその値をピーク値として更新、記憶します。再び▲スイッチを押すとリアルモードに戻ります。ピークモード中に▼スイッチを押すと、ピークLEDが点滅し、それまでのピーク値がリセットされリアルモードに戻ります。

※ピーク値はバッテリーを外してもクリアされません。



⑤調光機能

リアルモード中に▼スイッチを押すことで、メーター照明の明るさが調整できます。昼間5段階、夜間5段階＋減光キャンセル1段階で調整できます。イルミスイッチ連動で昼間から夜間のモードに切り替わります。さらに、夜間モード時でも▼スイッチを数回押すと、昼間の最高の明るさにできる減光キャンセル機能があります。昼間のトンネル走行や夕暮れ時などに有効です。再度▼スイッチを押すと夜間のモードに切り替わります。

※バッテリーを外しても設定は変わりません。最後に設定した明るさのままです。

※▲スイッチを押しても明るくなりません。ピークモードに移行します。

輝度	明るい ←	→ 暗い
昼間(イルミOFF時)	■→■→■→■→■	■
夜間(イルミON時)	■(減光キャンセル)→■→■→■→■	■

故障かな?と思ったら・・・(トラブルシューティング) (お客様・取り付け業者様へ)

⚠警告

- ① 異常を感じたら、すぐにエンジンを停止し、必ず点検をしてください。点検を行わずに使用すると、重大な事故が発生する恐れがあります。
- ② 点検は必ず販売店またはディーラーに依頼してください。お客様による作業は、故障や事故につながる恐れがあります。
- ③ 使用中、または設定・操作の段階でトラブルが発生した場合、または対処しても改善されない場合は、取り付けたお店・販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	対処方法
①動作しない。 ②電源が入らない。	①電源ハーネスの配線が間違っている。 ②エレクトロタップのロックが開まっていない、または接続不良を起こしている。	①取り付け方法に基づいて、+B、IGN、GNDの配線を確認してください。 ②エレクトロタップの配線部分を確認してください。
①エンジン回転数が正常に表示されない。	①エンジン回転数信号の配線が間違っている。 ②セットアップモードの気筒数設定が間違っている。	①Webサイトの適用車種検索に基づいて、配線を確認してください。 ②ご使用方法をご覧になり、気筒数設定を確認してください。
①エンディングモードを行わない。	①+Bの配線が間違っている。	①取り付け方法に基づいて、+Bの配線を確認してください。
①スモールランプをONにしても照明が減光しない。	①調光設定が減光キャンセル(夜間モードで一番明るい設定)になっている。 ②電源ハーネスの配線が間違っている。	①調光設定が減光キャンセルになっていないか確認してください(▼スイッチを押す)。 ②取り付け方法に基づいてILMの配線を確認してください。 ③エレクトロタップの配線部分を確認してください。
①純正メーターより指示値が少し低い。	①純正のタコメーターは実際のエンジン回転数より最大で10%程度高い場合がある。	①純正のタコメーターとの差が最大で10%程度が確認してください。本メーターは精度を最重視しているため、実際の値にほとんどと誤差はありません。10%程度であれば正常です。大きく異なる場合は気筒数設定を確認してください。
①設定したワーニング回転数と違う回転数でワーニング表示になる。	①ワーニング設定変更時、SET1ポイントをSET2ポイント以上に変更、またはSET2ポイントをSET1ポイント以下に変更した。	①ワーニング設定変更時、SET1ポイントをSET2ポイント以上に変更、またはSET2ポイントをSET1ポイント以下に変更した場合は、設定ワーニング値が変わります。ご使用方法をご確認の上、再度ワーニング設定を行ってください。
①取り付け前の無電状態で、指針が真下からずれている。	①製品の運搬中にメーターの指針が動いた。	①スプリングモーター固有の特性で、無電電の状態でもメーターに軽い衝撃が加わると指針が動く場合があります。製品を動作させてから、IGNをOFFしたときに指針が真下に戻ることを確認してください。真下に戻らない場合は販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。

保守・点検・保証・アフターサービス

■保証書・保証規程について

本製品には保証書が入っております。また、保証書の裏面に保証規程を記載しております。本製品は保証規程の内容に従って保証されます。よくお読みになり、記入事項をご確認の上、大切に保管してください。保証書の提示がない場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

■保証期間

保証期間はご購入から1年です。ご購入いただいた販売店が保証書に記載されていることをご確認ください。記載がない場合は、ご購入いただいた販売店へお問い合わせください。詳細は保証規程をご覧ください。

⚠注意

- ① 危険です。ご自身では修理しないでください。保証の対象外となるだけでなく、故障・事故の原因となります。
- ② 本製品を使用して発生した違反、事故等に関するもの、誤配線等、本製品の製造不良以外による車両トラブルについては一切責任を負いかねます。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後3年間保有しております。(性能部品とはその製品の機能を保持するために必要な部品です。)

■検査依頼について

取り付けた製品の調子がおかしい、または動作がおかしくなったと感じた場合はお買い上げいただいた販売店に検査をご依頼ください。Defi製品は車両への取付・配線作業が発生するため、お客様からの直接の検査ご依頼は受け付けておりません。検査・修理はDefi製品の販売店にご依頼くださいますようお願いいたします。

引越しや販売店の閉店等の理由により、お買い上げいただいた販売店に行くことができない場合はお近くのDefi製品取扱店にご依頼いただくか、Defiお客様相談室までお問い合わせください。
① 検査を依頼される際には、製品の他に保証書とお客様情報を必ずご提示ください。

中古製品を購入して使用される場合や、中古車を購入し取り付けられていた製品をご使用いただく場合は、必ずDefiで点検(有償)してからご使用ください。また、5年以上ご使用になった場合もDefiで点検(有償)してください。

取付後も製品本体、ハーネス、センサー部などを定期的に点検し、異常がないことをご確認の上、十分注意してご使用ください。

■ラベルについて

製品に貼ってあるラベルは製品情報を特定するためのものです。絶対に剥がさないでください。

■廃棄方法について

梱包材の処理および製品を廃棄する際は、廃棄物処理法ならびにお住まいの自治体のルールに従って処理してください。パッケージについてはリサイクルが可能です。(パッケージに記載されているリサイクルマークをご覧ください。)

お客様情報

検査を依頼する際には、お店の担当者に以下のことをおとづけてください。

1. お客様のご連絡先	
郵便番号・住所:	
氏名:	
電話番号:	
メールアドレス:	
2. 購入店と取り付け作業先 (連絡先)	
3. 取り付けしている車両の情報	
車種:	
年式:	
型式:	
エンジン型式:	
排気量:	
ギアミッション (MT/AT):	
リミッターカット	有 無
純正タコメーター	有 無
エンジン載せ換え	有 無
社外点火システムへの変更	有 無
ECU変更	有 無
センサー取付方法:	
その他の仕様:	
4. お使いの Defi 製品 (検査依頼する製品以外にも取り付けている場合はその製品も)	
5. 動作の状況 (いつ?何をしたら?どの製品が?何がどうなったのか?その後の状況は?)	

レーサーゲージN2タコメーターΦ80 取扱説明書
■発行 第4版2022年7月
■製造元 日本精機株式会社
■連絡先 日本精機株式会社 Defiお客様相談室
【住所】〒940-8580 新潟県長岡市東蔵王 2 丁目2-34 日本精機株式会社Defi
【電話番号】(0258) 24-5221 (Japanese only)
【受付時間】10:00~12:00, 13:00~17:00 (土・日曜、祝日、当社休日を除く平日)
【Webサイト】https://www.nippon-seiki.co.jp/defi/

NS 日本精機株式会社